



日本共産党市会議員

2024年05月24日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

保育所が足りない

待機児童が倍増 = 121人

待機児童が昨年の56人が今年121人に倍増

西宮市でも、待機児童問題がいまだに解決できない状況にあります。西宮市は、毎年、保育所の待機児童数を5月に公表していますが、昨年の待機児童は56人で、今年は121人となり、待機児童が倍増しました。長年にわたって、待機児童問題は解決されないまま深刻な状況が続いているのです。



かつて、2016年、「保育園落ちた日本死ね」という言葉が流行語大賞にノミネートされることがあり、待機児童問題が社会の大問題となりました。ところが、政府も自治体も抜本的な対策を打つことをせず、待機児童問題は解決されないまま今日に至っています。待機児童問題は深刻な問題です。即刻解決すべきです。

逆行する「西宮市幼児教育・保育の在り方」=保育定数を減らす

西宮市は、2023年3月、待機児童問題が解決できない状況が続いているさなかに、保育所定数を減らす計画を含んだ「西宮市幼児教育・保育の在り方」という指針を決定、公表しました。この指針は、公立幼稚園と公立保育所の再編を主目的としています。具体的な推進は、すでに公表されているアクションプラン [part 1]、アクションプラン [part 2] にもとづくとともに、現在検討されているアクションプラン [part 3] でしめされる計画にもとづきます。

8つのブロックに分けて統廃合を推進

統廃合計画は、8つの地域（山口、塩瀬、大社、広田、甲東、浜脇、上甲子園、鳴尾）に区分けして、それぞれの地域で、公立幼稚園と公立保育所を統合し、公立の認定こども園へと移行させます。

すでに公表されているアクションプラン [part 1] では、まず、浜脇地域において、浜脇幼稚園と浜脇保育所との統合再編を行い、来年度（令和7年4月）、現在の浜脇保育所の場所に浜脇ブロック認定こども園を開設し、保育定員を18人減らすとしています。

アクションプラン [part 2] では、広田ブロック（令和8年度）、鳴尾ブロック（令和9年度）、上甲子園ブロック（令和10年度）の3つのブロックで公立幼稚園と公立保育所を統合し、保育定員を68人も減らす予定で、計画を進めようとしています。

待機児童解消こそ緊急を要する課題



保育所が足りない！由々しき事態です。西宮市は、待機児童を解消する具体的な対策をたずねずに過ごしています。ひどいことに、保育定員を減らす公立幼稚園と公立保育所の統廃合計画をたて、それを強引に進めようとしています。こうした態度は即刻改め、待機児童を解消する緊急課題に立ち向かうべきです。